

神戸市外国語大学 2025年『教師のためのオープンキャンパスウィーク』講義一覧

※教室は変更の可能性あります。

(平日) 11月4日(火)～7日(金)

授業番号	曜日	時限	授業科目	教員 (敬称なし)	教室	主題
1	火	6	西洋哲学史	阿部 将伸	502	この講義は「身体」というテーマのもとに西洋哲学史を振り返りながら、現代の私たちの身体のありようを考察します。本講義の目標は以下の二つです。(1) 西洋哲学史の基本的な流れを理解すること。(2) 過去の哲学者との対話を通じて身体を語るための言葉を練るすること。
2	火	6	専攻英語III講読[3] G 2	並河 葉子	205	To read the text about 'social reproduction theory' and to consider about gender, reproduction and work in capitalist society.
3	火	6	兼修ドイツ語I[1]	宮下 みなみ	201	初めてドイツ語を学ぶにあたって、基本的な文法知識と、実践的なコミュニケーションや文章読解の技法を、相互に高め合うかたちで身に付けてゆくことを目標とします。
4	火	6	英文学史 2	吉川 朗子	501	産業革命、科学の発展、市民革命、選挙法改正、印刷革命、交通革命、帝国主義、対外戦争などを通して、人々の行動様式・価値観・世界観などが急変かつ劇的に変容していった18世紀後半以降のイギリスにおいて文学はどのように展開していったのかを、主要作品の解説と鑑賞を通して見ていくと同時に、それらの作品を生み出したイギリスの社会・経済・政治的状況、文化や芸術思潮などについても学ぶ。また、英語で書かれた様々な文学作品の表現の特徴を賞感じ、それらの特質について十分な理解を得る。
5	火	6	統語論講義	那須 紀夫	208	生成統語論についての入門的な解説を行います。特に、(i) 統語分析で用いられる基本的な概念や方法、(ii) 句構造および変形操作の特徴、(iii) 英語（および他言語）の統語的特徴について学びます。
6	火	6	臨床心理学入門 2	金沢 晃	203	臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解（アセスメント）し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、子どもの発達、うつや認知症などの精神的問題を取り扱います。自分自身の精神状態や他者をよりよく理解できるようになることを目標とします。
7	火	6	教職実践演習（中・高）G 1	岡本 義裕	102	本科目は、兵庫県内の教育委員会及び兵庫県内の公立学校等と連携しながら、教職課程の学びの総仕上げとして、教師に求められる様々な資質・能力に関しての自らの中での形成状況と課題を、演習等の実践的実感的な学びを通して再確認していくものである。本演習では、主に以下の4点の資質・能力の基盤を築くことを目指す。①教育に対する使命感・責任感や子どもに対する豊かな愛情をはじめとする「教師としての根本的（本質的）資質」について、自らの課題意識を明確にする。②生徒理解に基づく生徒指導や学級経営の視点も持ちながら生徒に「主体・創造・探究・共同」的な学びに取り組ませる教師として、必要な能力を身につける。③学校づくりや学年経営の視点をもちながら具体的な目標に向けて革新的組織的計画的に取り組む職員集団の一員としての在り方を見定め、深い洞察力と実践力を、社会性や対人関係能力と共に身につける。④授業実践力に関わる「生徒の学習課題を的確に把握する力」「有効な手立を見極め柔軟な発想を盛り込む力」「豊かな知識や確かな技能」等を機能的臨床的な資質・能力として身につける。
8	火	6	英語教育法「第1」2	濱田 彰	406	英語の教師に期待される英語教育の理論的知識と実践的教育力を身につけることを目標とする。理論面では学習者理解、各技能の指導法などについて学び、実践面では引き続き英語教育に関わる要素や理論の実践への応用、教材研究、教材作成、授業展開の方法を実際の模擬授業演習の中で体験する。模擬授業は録画し学生の経験学習・内省学習のための教材とする。さらに学生間で模擬授業に対する批判的フィードバックを与えることで、協働学習を促進する。授業中の議論や相互評価を通して発表力を養い、総体として教員力、教育力の向上をめざす。
9	火	7	兼修ドイツ語II[1]	宮下 みなみ	201	中級レベルのドイツ語能力の習得を目標に、文法や文章読解、実践的なコミュニケーションなどの技法をいっそう深く広く学び、ドイツ語の技能をさらに総合的に向上させようします。
10	火	7	教育相談	金沢 晃	203	教育相談活動は、子どもの教育上の問題について、子ども本人や、保護者、教師に助言、指導をしていく活動である。この授業では、教育相談の理論や方法に習熟すること、子どもの心理的問題、発達上の問題や、いじめ、不登校、虐待など教育現場における問題について習熟することを目指す。
11	水	6	専攻英語I文法 A	山口 治彦	206	中学校および高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につけると共に、自らの文法の能力や、文法研究の基礎能力を育てる。
12	水	6	専攻英語I発音 B	S.Yagata	第5AV	英語の音声に関する理論に対する知識と理解を深め、実践練習を通して誰からも理解してもらえる英語発音を身につけることを目指す。英語の音声特徴、発音記号、音素器官の使い方、発声法などを学び練習する。英語を専門に学ぶ学生として自信を持って英語を口にするのができ、加えて教職を目指す学生にとっては発音記号を正しく読み、自ら教室で生徒に規範的な手本を示し、誤った生徒の発音に対する的確な指導ができるようになることを目標とする。
13	水	6	専攻英語II講読[1]（小説）A	松田 卓也	103	主に中編小説の精読を通して、英文の構文を正確に把握し、英語表現の多様性と意義を理解するとともに、作品の背景となるアメリカ社会の文化や歴史、慣習などに関する知識を深めて、散文を深く読み込む力をつける。また、文学作品の読解を通して得た自分の解釈を論理的に表現する方法についても学ぶ。
14	水	6	専攻英語II講読[3]（詩）C	吉川 朗子	207	英語で書かれた代表的な詩作品を学ぶことで、英語読解力を鍛え、様々な英語表現・レトリック・論理構成を学ぶとともに、英語らしい響き、リズムになれる。また、作品を生み出した英米の文化・社会の背景について理解する。
15	水	7	専攻英語I文法 C	山口 治彦	206	中学校および高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につけると共に、自らの文法の能力や、文法研究の基礎能力を育てる。
16	木	6	データサイエンス入門 E	関 陽介	第4AV	現代社会では専門分野を問わず、データを処理するための統計学や人工知能、プログラミング等の知識や技術が求められています。この授業では講義と実習を通してこれらの基礎知識や技術を身につけることを目的とします。
17	木	6	兼修ドイツ語II[2]	E.Franz	応用視聴覚室	身近な事柄についてのドイツ語圏の事情を学び、それに対応する日本事情をドイツ語で表現することを目指します。
18	木	6	人間形成論	安喰 勇平	408	この授業では、様々な学問領域を横断しながら、人間形成のプロセスを多角的に検討する。
19	木	6	日本語学概論 1	占部 由子	107	この授業では、日本語や琉球諸語の方言の例を通して日本語学の基本的な知識を学ぶ。学んだ知識を使って、適宜ワークブックから問題を引用しつつ、日本語学的な分析方法のトレーニングを行う。それぞれが日本語学的な知見を運用し、身近な言語・方言についての観察・分析を行う基礎を作ることを目指す。
20	木	7	データサイエンス入門 G	関 陽介	第4／第5AV	現代社会では専門分野を問わず、データを処理するための統計学や人工知能、プログラミング等の知識や技術が求められています。この授業では講義と実習を通してこれらの基礎知識や技術を身につけることを目的とします。
21	木	7	兼修ドイツ語I[2]	E.Franz	応用視聴覚室	発音から基礎的な文法事項を学びながら、簡単な日常会話ができるようになります。
22	金	6	英語教育法「第2」2	濱田 彰	505	英語教育法「第2」に引き続き、外国語(英語)の目標が、聞く・話す(やり取り・発表)・読む・書くという5技能を最大限に活用して、コミュニケーション能力を高めていくことや、異文化理解を深めることに置かれていることから、模擬授業や指導案作成などを通して、外国語の指導に必要とされる知識を理解し、技能を磨きしていくことを目的とする。
23	金	6	教育課程論	岡本 義裕	501	本授業は、学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程についての以下の内容への理解を基盤とし、わが国の教育課題の解決や目標の具現化に向かう今後の教育動向についての認識を、学習指導要領に示された具体的なカリキュラム編成の指針や要件などの視点から深めることを目指すものである。・学習指導要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的への理解。・学習指導要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景への理解。・教育課程が社会において果たしている役割や機能についての理解。・教育課程編成の基本原則の理解。・教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法の例への理解。・単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性への理解。・学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性への理解。・カリキュラム評価の基礎的な考え方の理解。
24	金	6	児童英語教育	大槻 有佳子	102	This course will introduce to the students different kinds of materials to teach young children. This course focuses on experiential learning. Show your understanding and discuss related topics in class. Also, participants will conduct a small activity and micro-teaching lesson. At the end of the course, participants reflect on the course and submit a final portfolio as an outcome.
25	金	7	憲法 2	山口 智	101	主に経済・政治生活に関わる権利を扱う。
26	金	7	英語教授法1(指導法入門)※	矢形 勝秀	第3AV 19:40～21:10	This course provides an overview of theoretical concepts and methodological practices relevant to world language education. It aims to offer students opportunities to deepen and transform their understandings about teaching and learning a second language, and education through experiential learning and reflective practice. The course syllabus is a general plan for the course; deviations announced to the class by the instructor may be necessary. ※この授業は時間帯が異なります。

(土曜) 11月8日

授業番号	曜日	時限	授業科目	教員 (敬称なし)	教室	主題
27	土	1	英語教授法2（聞くこと・話すこと）	M.Hollenback	第3AV	Through this course, students will be able to: 1) understand the teaching and learning of listening and speaking through various pedagogical and methodological approaches, 2) use various approaches for interaction in their teaching context, and 3) evaluate how interaction can be assessed and taught based on various learning targets.
28	土	2	言語アセスメント	濱田 彰	第4AV	英語教育における言語能力の測定・評価方法についての理論と実践について学ぶ。特に、指導と評価の一体化を実現するための言語アセスメント理論、評価方法と種類、テスト作成技術を得る。さらに、評価の心理的側面や倫理と公平性、データ分析とテストの改良といった内容を扱い、言語評価リテラシーを高めることを目標とする。
29	土	3	インストラクショナルデザイン	S.Yagata	第5AV	The purpose of this class is to engage with theory behind instructional design including the assessment of learner needs, curriculum creation, material development and adaptation, and lesson planning. Students will critically analyze their teaching contexts including national and school-level requirements, school and department philosophies, learner needs and characteristics, and team-teaching practices. Students will also reflect on how their own pedagogical beliefs impact instructional design. In this class students will practically apply each of these ideas to creating and/or adapting a curriculum and create a portfolio that documents their learning through the class.